

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 市民一人ひとりが共につくるまち

施策番号・名 03 互いに尊重しあえる意識の醸成

基本事業番号・名 03-04 平和意識の尊重

事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)	
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)		選択項目
03-04-01	総務課	対象	市民	平成21年度	市民人口	平成21年度	参加者数	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)
	2009年東久留米市平和事業	手段	①写真展「東京大空襲と世界の難民」 ②「平和の千羽鶴」 市民の方に、平和への願いを込めて「鶴」を折っていただき、平和の千羽鶴として仕立て、広島市、長崎市へ送る。	114,807 (人)		407 (人)		未把握 (%)	156	2,170	2,326	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 総務課 西川昌彦	
				平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持		
				114,692 (人)		437 (人)		未把握 (%)	120	2,507	2,627	できるだけ多くの市民に平和についての理解を深めてもらうことを目的に、必要最小限の予算・人員で実施している。事業効果を高めるために、啓蒙活動や事業の周知に努める。		本年6月1日、平和市長会議へ加盟した。これを契機により一層の平和意識の醸成に向けて事業を推進する。	
	意図	・一人でも多くの市民に平和の尊さを理解してもらう。 ・平和意識の醸成を図る。	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	未把握 (%)	124	2,500	2,624					